



2026年3月19日

各 位

会社名 株式会社アクセルスペースホールディングス
代表者名 代表取締役 中村 友哉
(コード番号：402A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 折原 大吾
(TEL. 03-6262-6105)

**宇宙戦略基金 第二期「衛星データ利用システム実装加速化事業
(C) 衛星データ利用システムの開発・実証環境整備(委託)」採択のお知らせ**

当社は、連結子会社の株式会社アクセルスペース、一般財団法人リモート・センシング技術センター（以下「RESTEC」）、株式会社パスコ、株式会社New Space Intelligence、株式会社Synspectiveの5団体が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）が推進する宇宙戦略基金事業第二期の技術開発テーマ「衛星データ利用システム実装加速化事業」に、採択されましたことをお知らせいたします。株式会社アクセルスペースは本件において、連携機関として光学センサの校正検証手法の開発を担当します。

記

1. 宇宙戦略基金事業の概要

宇宙戦略基金事業はJAXAに設置された基金を活用し、産学官連携による宇宙技術の研究開発・社会実装を複数年度にわたり支援する制度です。内閣府主導のもと関係府省が連携し、宇宙分野の戦略的技術開発を推進しています。

2. 本事業の概要（予定）

配分機関:国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）

技術開発テーマ:衛星データ利用システム実装加速化事業

技術開発実施内容：（C）衛星データ利用システムの開発・実証環境整備(委託)

技術開発課題:国産小型衛星の利用を加速する評価・校正・検証・補正手法の環境整備

・代表機関：一般財団法人リモート・センシング技術センター（RESTEC）

・連携機関：

株式会社パスコ

株式会社New Space Intelligence

株式会社アクセルスペース

株式会社Synspective

支援額:10 億円～30 億円程度 *1

事業期間:事業契約締結日～2030年9月末を予定 *2

注記

1. 事業期間を通じた支援規模の総額。今後ステージゲート審査等により変動する可能性があります。
2. 当初契約期間は、契約日から、最初のステージゲート評価が終了する日の属する年度の末日まで。支援開始後2年目を目途にステージゲート評価が実施され、その結果によっては、それ以降の所要の事業期間分（最長3年程度）の支援を受けることが可能となります。

3. 今後の見通し

株式会社アクセルスペースは連携機関として、今後数カ月を目途に、代表機関との間で委託契約を締結予定であり、現時点において受領金額は未確定ですが、実施期間にかけて総額で受領する金額は当社2025年5月期の連結売上高の10%以下となる見込です。当委託契約を締結することを決定した際には、詳細を速やかに開示する予定です。

なお、本件は2025年8月13日に発表いたしました2026年5月期の業績予想に与える影響は軽微であると判断しております。なお、今後の業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

4. その他

案件の詳細につきましては、本日発表のプレスリリースおよび宇宙戦略基金のウェブサイトをご参照ください。

宇宙戦略基金（第二期）「衛星データ利用システム実装加速化」の採択について
—国産小型衛星の利用を加速する評価・校正・検証・補正手法の環境整備—
(2026年3月19日付公表)

https://www.axelspace.com/ja/news/spacestrategyfund_satellitedata/

JAXAウェブサイト「宇宙戦略基金 衛星等（第二期）衛星データ利用システム実装加速化事業」

https://fund.jaxa.jp/techlist/theme2_22/

以上